

きときと情報 2017 141号

富山県中小企業団体中央会

特集1 富山の上質なライフスタイルを発信! **日本橋とやま館**

特集2 平成25年度ものづくり補助金 **県内企業の成果事例**

経営者に聞く: 有限会社四津川製作所 代表取締役 四津川 元将氏

組合紹介: 富山美術商協同組合さんよりこんにちは

中央会いんふおめーしょん: 創立60周年記念大会

第57回中小企業団体富山県大会を開催 ほか



表紙のことば

高岡鉄器・高岡仏壇・越中福岡の菅笠

高岡鉄器は、加賀藩主前田利長により金屋町に土地を与えられた鑄物師(いもじ)たちが鍋・釜などの生活用具や農耕具を製造したのがはじまりです。のちに風合いとデザインを活用した美術鉄器の製造が盛んになり、現在も文具、干支置物や茶道具など鉄の特性を活かしたもののづくりが行われています。

高岡仏壇は、全国的に庶民の家に仏壇が置かれるようになった江戸時代に、高岡でも作られはじめたものです。立体感のある彫刻や豪華な金具、蒔絵が特徴で、戸や障子に金箔を使用するため全体的に金色を帯びている印象となります。

越中福岡の菅笠は、中世(1441~43年頃)に京都の禅僧、あるいは江戸時代に伊勢国から移住してきた人から製法が伝わったといわれています。小矢部川流域の福岡町に自生する良質な菅草を使用する菅笠は、現在でも全国シェアの約9割を占めています。

経営者・役員・従業員とそこご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、安定した退職金準備ができる共済制度です。

- 特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、一般扱 (口座振替毎月払等) でご契約いただくよりも、保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の事業承継対策とリスクマネジメントのために。

パートナーズプラン

従業員の皆さまの保障準備をサポートします。



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる従業員さまのケガなどのリスクをカバーする保険です。

- 業務災害補償保険
引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社
取扱代理店 三井生命保険株式会社

* 団体扱とは、富山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」および富山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 富山支社

〒930-0029 富山県富山市本町3-21 損保ジャパン日本興亜ビル5F TEL:076-441-3194
<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

きときと情報 141号

CONTENTS

特集 1

1

富山の上質なライフスタイルを発信！日本橋とやま館

特集 2

6

平成 25 年度ものづくり補助金 県内企業の成果事例

経営者に聞く

17

有限会社四津川製作所 代表取締役 四津川 元将 氏

組合紹介

19

富山美術商協同組合さんよりこんにちは

組合だより

20

日本橋とやま館で展示即売会「楽縁市」を初開催（高岡銅器協同組合）
富山市、高岡市他と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結
（富山県電気工事工業組合）
工場団地内の市道融雪装置への水提供を開始（婦中鉄工業団地協同組合）
価格交渉サポートセミナーを開催（富山県鋳物工業協同組合）
組合創立 50 周年記念式典を開催（富山県板金工業組合）

ほっと一息

22

昨年 12 月から新しい洗濯表示が始まりました
（富山県クリーニング生活衛生同業組合）

事務局ペンリレー

23

富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合 富山市ホテル旅館事業協同組合
事務局 松島 秀樹 氏

組合Q&A

23

出資証券紛失の際の取扱いについて

元気印！青年部・女性部

24

組合青年部代表者会議を開催しました（富山県中小企業青年中央会）
アピラスポーツクラブにおいて女性部・女性経営者等セミナーを開催
（富山県中小企業レディース連絡会）

中央会いんふおめーしょん

25

創立 60 周年記念大会第 57 回中小企業団体富山県大会を開催しました
商工中金より感謝状を受領しました
中小企業対策の拡充・強化などを県知事に要望しました
全国中小企業団体中央会創立 60 周年記念式典・記念祝賀会が開催されました
県内 5 経済団体による新春互礼会を開催しました
外国人技能実習制度適正化事業講習会を開催しました
採用力アップ研修オープン講座を開催しました
県内中小企業人事・採用担当者による東京都内の大学訪問を実施しました
産学官連携セミナー（ものづくり補助金活用事例発表会）を開催しました

富山労働局からのお知らせ

30

準備していますか？有期雇用者「無期転換ルール」

税務署からのお知らせ

31

平成 28 年分 所得税及び復興特別所得税・消費税及び
地方消費税・贈与税の確定申告

トピックス

四季を彩るとやまの祭り「春の喜びと活気を感じる」

特集 1

富山の上質なライフスタイルを発信！ 日本橋とやま館

東京・日本橋は、三越や高島屋といった老舗百貨店が立地しているほか、コレド日本橋をはじめとした新しい商業施設や高級ホテルなどの再開発が進んでおり、東京の中でも特に活気があるエリアの1つです。この日本橋に、昨年6月、富山県の新たなアンテナショップとして誕生したのが「日本橋とやま館」です。

今号では、オープンして半年余りが経った「日本橋とやま館」について特集として紹介します。



日本橋とやま館の正面入口（画像の一部を加工しています）

1. 伝統と新しさが共存する日本橋に立地

県では、北陸新幹線の開業効果の持続や2020年のオリンピック・パラリンピック開催で沸く首都東京での富山の魅力発信強化を目的に、平成26年度から首都圏情報発信拠点に関する有識者会議を設置しアンテナショップの機能強化についての議論を進めてきま

した。このような中、単にモノを売る物販だけではなく、食、自然、伝統文化など日常の富山の魅力を伝えることを目的に富山県の新たな首都圏情報発信拠点が整備されることになりました。

そして、昨年6月、「富山の上質なライフスタイルの

提供」をコンセプトに新たに開設されたのが「日本橋とやま館」です。



オープニングイベントの様子

日本橋とやま館は、銀座と日本橋を結ぶ目抜き通りである中央通りに面し、首都高速道路の高架下にかかる日本橋の北詰、三越日本橋本店新館の向い側に立地する大栄ビルの1階のワンフロアに出店しています。日本橋エリアには三越や高島屋といった老舗百貨店のほか、商業施設が入るコレド日本橋やコレド室町、高級ホテルが入る日本橋三井タワーなど、近年に再開発された大型施設も多く立地しています。一方で、五街道の起点であり江戸時代からの中心地である日本橋には、100年以上続く日本料理店や和菓子店なども多くあり、伝統文化と新しさが共存する街といえます。



三越の向かいに立地する日本橋とやま館

同館では、日本橋という立地を活かし、日本橋エリア全体の戦略ターゲットである30代～40代女性を中心に、老舗百貨店顧客、オフィスワーカー、外国人観光客を取り込み、集客につなげていきたいとしています。実際に、メインターゲットである30～40代女性のほか、外国人観光客や外国人ビジネスマン、大手企業の重役や百貨店のバイヤーなどがふらっと来館することもあるようです。



日本橋とやま館の周辺地図

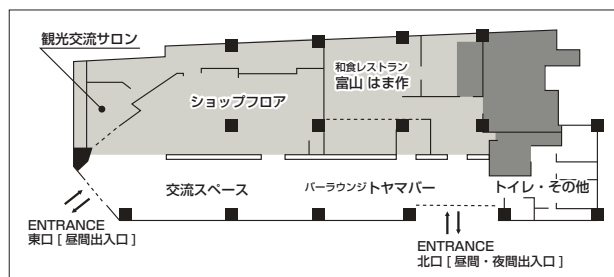
なお、富山県のアンテナショップとして永く親しまれている有楽町の「いきいき富山館」について、日本橋とやま館の開館後はどうなったのかという声をよく聞きます。こちらは、わずか25坪ほどのスペースですが、売上も多く常連客も少なくないことから、観光案内の機能を日本橋に移したうえで、引き続き営業しています。



有楽町の「いきいきとやま館」

2. 日本橋とやま館の施設概要

日本橋とやま館は、物販、飲食、観光、イベント機能などが一体となった統括的な運営を行うとともに、売上至上ではなく本来のアンテナショップの意義である、富山への誘客・移住、販路開拓等へつなげ地域活性化へ寄与することを意識した施設設計となっています。1階の143坪のワンフロアに、ショップフロア(物販エリア)、和食レストラン(飲食エリア)、観光交流サロン、交流イベントスペースの4つのエリアが設けられています。



フロアマップ

また、同館のフローリング、レジカウンター、商品棚、バーラウンジのカウンターなどの内装には、富山県産の木材がふんだんに使用されているのも特徴的です。ショップフロアと交流スペースを隔て、バーカウンター背後の壁面ともなっている格子の壁にはタテヤマスギが使用され立山連峰の稜線がイメージされており、バー



同館のシンボルでもある県産材の格子の大壁面

カウンターとともにショーウィンドウ越しに外からもよく見えることから同館のシンボルともなっています。こ

れらが評価され、昨年12月には木材利用を顕彰する「ウッドデザイン賞」の優秀賞(林野庁長官賞)を同館が受賞しました。

3. 日本橋とやま館の持つ機能

日本橋とやま館は、物販、飲食のほか、観光・定住・UIターン促進、交流・イベント、ビジネス支援の5つの機能で構成されています。

1つ目の物販機能は、言うまでもなく富山の食材や伝統工芸品、富山ならではの商品の販売を行うものです。同館では上質なライフスタイルを提供するというコンセプトのもと、富山の「あたりまえ」の素晴らしさを提供することに焦点を当て、都会の暮らしにも溶け込む富山の食の逸品や手仕事の技を活かした商品を県内事業者から公募して販売しています。ここで言う上質とは高級という意味ではなく、富山の素朴で良いものを意味します。実際に、蒲鉾や昆布締め、ホタルイカの干物など、富山ではおなじみの商品が売れ筋のようです。



富山ならではの食材や工芸品が並ぶ物販エリア

2つ目の飲食機能として、富山ならではの食文化を味わえる本格和食レストランとして「富山 はま作」が出店しています。ここでは、富山から直送された食材を味わえるとともに、錫製のぐい飲みや漆器のお皿・お椀など富山の伝統工芸品にこだわった食器で料理を楽しむことができることも特徴です。ちなみに、は

ま作で提供する富山米のご飯は、東京の水で研ぐと風味が落ちてしまうことから、わざわざ上市町から取り寄せた穴の谷の霊水で研いで炊くというこだわりようです。

3つ目の観光・定住・UIJターン機能として、観光交流サロンが設置されています。ここは、日本橋らしい上質な空間でお客様へのサービスを行う拠点となっており、同館のインフォメーション機能も担っています。また、英会話が堪能なコンシェルジュが常駐しており、商品の紹介や観光・UIJターン情報の提供などを行っています。コンシェルジュの常駐は、他の自治体のアンテナショップではあまりみられない取り組みです。



交流サロンには井波彫刻の欄間が展示されている

4つ目の交流・イベント機能は、同館の交流スペースを中心に行うものです。物販エリアと連動した市町村等の地域をPRするイベントや富山の工芸品づくりなどを体験できるワークショップなどがこれまでに開催されています。

また、ライフスタイル情報誌「Discover Japan」との共催で、アーティストやクリエイターなどを招いて行うトークショーも定期的で開催しており、人気のイベントとなっています。そのほか、ファッション雑誌のロケ撮影のため、人気タレントが訪れたりするなど、多くのマスメディアに取り上げられました。これらは、出演者による情報発信や口コミを含め、大きな宣伝効果が期待されます。

交流スペースには、館のシンボルでもある大きなバー

ラウンジが設置されており、富山の地酒や飲料等が提供されています。こちらでは、富山の蔵元らによる地酒イベントなども開かれています。



オープンイベント時のバーラウンジの様子

最後のビジネス支援機能としては、県内事業者の首都圏での出品機会や販路開拓の場の提供、富山の伝統・ものづくりの作り手と買い手のマッチング、新商品等のトライアル・マーケティング支援などが想定されています。

具体的には、まず、物販エリアでの商品取り扱いが挙げられます。ここで直接売上を伸ばすこともさることながら、日本橋での販売を販路開拓の一つの手段と考え、大きな商売に結び付けることが期待されています。実際に、来館したバイヤーなどから、物販エリアで販売している商品に対しての引き合いや製造元への問い合わせもあるようです。そのほか、交流スペースを活用した県や市町村のイベントにおいて、関連する県産品の展示・販売が行われています。

なお、ショップフロアでの商品取扱いを希望する場合は、日本橋とやま館のホームページより随時申込みが可能です。同館のホームページの「商品の公募について」のバナーよりエントリーページに進めます。エントリーが完了した商品については、概ね3か月毎に開催される選定会議により、候補商品に選定されるか否かが判断されます。候補商品に選定されたとしても出品までに時間を要する場合や取引条件により出品に至らないこともあるので注意が必要です。



日本橋とやま館ホームページ (http://toyamakan.jp)

4. オープン後の状況

本会の会員の中には、すでに日本橋とやま館での取り組みを行った組合もあります。例えば、高岡銅器協同組合は、昨年11月、同館の交流スペースを活用して、展示即売会を開催しました。詳細については、本

誌20ページにも掲載していますが、県が主催する伝統工芸展と共同した形での開催でした。また、井波彫刻協同組合は、12月に開催された南砺市ウィークに、木彫りの天神様や新商品の木彫スピーカーなどの井波彫刻作品を展示しました。そのほか、同館からの依頼で、富山ます寿司協同組合による「ます寿司」づくりのワークショップなども開かれています。

富山県の発表では、オープンから半年の期間の総入館者数は約20万人となり、ますますの滑り出しでした。平成31年度には60万人の入館を目標としており、さらなる誘客策を検討することです。

県内の中小企業や組合においても、富山の日常の価値や魅力を再認識し、地域や産業のPRは勿論、首都圏をターゲットにした販路開拓、日本橋という立地を活かしたブランド発信など、さらなるビジネス展開のために日本橋とやま館の活用を検討されてはいかがでしょうか。

【日本橋とやま館 概要】

名称：日本橋とやま館
 所在地：東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル1F
 面積：1階フロア 143.13坪 (473.17㎡)
 電話番号：代表 03-6262-2723
 ショップフロア 03-3516-3020
 和食レストラン 03-3516-3011
 営業時間：ショップフロア 10:30～19:30
 バーラウンジ 11:00～21:00
 和食レストラン 11:30～14:30
 17:00～22:30 (日・祝～21:00)

運営事業者：一般財団法人富山会館
 県所管課：富山県観光・地域振興局 地方創生推進室地域振興課
 ホームページ：http://toyamakan.jp



“富”を“山”で囲んだ
 デザインのロゴマーク

特集2

平成25年度ものづくり補助金 県内企業の成果事例

平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金」（ものづくり補助金）は、成長分野へ参入など、革新的なものづくり・サービスの提供等にチャレンジする中小企業・小規模事業者の試作品・新サービス開発、設備投資等を支援したもので、本会では富山県地域事務局として、1次公募第一次締切分56件、1次公募第二次締切分127件、2次公募分80件の計263件を採択しました。今号では、本補助金を活用した事業について、本会が昨年10月に作成した成果事例集より5社の取組みを抜粋してご紹介します。



事業種類別の補助率・補助限度額及び採択数

事業種類	補助率	補助限度額	設備投資	採択数
成長分野型	3分の2	100万～1500万円	必要	54
一般型	3分の2	100万～1000万円	必要	206
小規模事業者型	3分の2	100万～700万円	不可	3
			合計	263

紹介事例

- ・ 成果事例 1
株式会社 石金精機
24時間連続無人稼働体制で航空機産業分野の飛躍を目指す 7
- ・ 成果事例 2
株式会社 小笠原製作所
NC旋盤の素材自動供給装置開発、回転止めずキズなし装着に成功 9
- ・ 成果事例 3
株式会社 小泉製作所
高機能ロボットで研磨加工を自動化、伝統産業の職人減少リスクを軽減 11
- ・ 成果事例 4
さわや食品 株式会社
富山県産コシヒカリを使ったふっくらおいしい米粉パンを開発 13
- ・ 成果事例 5
株式会社 東城
スウェーデン式サウンディング試験の諸問題を改善し、信頼性の高い地盤調査を提供 15

(会社名 五十音順)



24時間連続無人稼働体制で 航空機産業分野の飛躍目指す

本事業における成果

- 24時間連続無人稼働が実現
- 航空機関連部品の生産体制を大幅改善
- 生産量2倍、売上5倍に
- より安定した品質で短納期が可能に

1 会社の概要

マイクロメーターやブロックゲージなどの測定器具専門工場として1951年に創業。“超精密加工のパイオニア”として、工作機械、半導体装置等の精密機械部品の設計製作、自動車等の試作部品製造など様々な分野で業績を伸ばしてきた。「創意工夫」の企業理念のもと、“高付加価値部品の世界トップブランド”を目指し、複雑・高度な顧客の要望に応じた多品種小ロット生産で幅広い分野の加工を行っている。5軸制御マシニングセンタなど加工機械延べ100台以上の豊富な設備を持ち、材料手配から切削・研削加工、熱処理・表面処理、精密検査まで、全て社内で一貫して加工・管理できるのも当社の強みである。

リーマンショックを契機に、現在、全社売上の7～8割を占める工作機械事業への依存脱却を図り、

“第三次創業”として新たに業態を変化させることを決断。2013年の中長期事業計画では、航空機事業、医薬機器事業、設計・製作事業、試作品事業の4分野を新たな柱として立ち上げた。

2 補助金事業の内容

新事業4本柱のうち、成長産業の航空機事業への期待は大きい。世界の航空機需要は、旅客、貨物ともに年平均5%程度増加。20年後には2.5倍以上になると予測され、世界的に需要が高まっている。国内でも国産ジェット旅客機「MRJ」の量産や、防衛省向け輸送機の開発、将来的な民間向けへの転用など、市場規模拡大が期待できる。また目に見えない付加価値として、社の知名度向上や優秀な人材確保にもつながる。

高精度部品製造や難削材加工の技術を活かし、2011年3月に航空機関連部品の製造に着手した。2013年には、航空・宇宙産業向けの品質管理規格「JISQ9100」の認証を取得し、本格的に航空機事業への参入を果たした。さらに、2014年1月には増産に向けた航空機部品専用の新工場を建設した。

事業展開本格化に向けて、採算ベースにあった受注数量と生産数量増を実現するためには、従来の生産体制を改善し、24時間連続無人稼働の生産体制が



航空機部品専用工場。現在、5軸マシニングセンタなどの大型工作機械が9台稼働し、主翼部品や機体部品の製造している



航空機事業は今後当社の大きな柱になりうる事業として、大きな期待が寄せられている

不可欠である。今回の補助金事業では、納期とコスト両面で顧客の要望に応えるため、長時間無人運転ができる高精度の5軸制御立形マシニングセンタを導入した。

3 補助金事業の成果

新規導入した機械は、加工物を取り付けるパレット（作業台）を32個備えている。ドリルなどの工具も通常は60本程度の備えだが、この機械は160本備えており、材料のセッティングや工具の交換にかかる段取り時間も短くなった。加工速度も上がり、部品材の入れ替え作業なしで24時間連続無人稼働できるため、従来の2倍の生産量を確保できた。製作部品の種類もこれまでより300品種増え700点となり、顧客の受注増の要望に対応できるようになったため、大手重工から機体部品加工の受注を新たに獲得。売上も導入前に比べて約5倍伸びた。

設備は大型部品の加工にも対応でき、主翼部品全てが1つの加工機で生産可能になった。主翼部品は航空機部品の中でも特に高度な品質が求められており、安定した品質で量産できる体制が整ったといえる。

4 今後の展望

2016年現在、工場の休日は設備を稼働していない日もあるが、今後は休日時も無人でフル稼働させ、現在の1カ月当たり最大440時間稼働を700時間に引き上げ、完全24時間稼働体制を確立する。2年後には、全社売上に占める航空機部品の割合を現在の1割から2割へ引き上げる。今後は積極的な海外展開にも挑む。また、フル稼働実現のため、安定したプログラムを作成するプログラマーの育成は今後の課題でもある。

航空機事業は、設備投資、認証取得などで資金負担が重い上、要求されるレベルも厳しい。また航空



補助金事業で導入された5軸制御立形マシニングセンタ「MAM72-35V」

部品の生産コストは「グローバルスタンダード」として、安価に設定されている。しかし、一度受注を獲得すれば、10年以上、中には30年以上と長いスパンでの受注が見込める上、技術力を他の事業分野にも応用できる。2016年4月に県内のメーカー6社が集まり「富山県航空機部品共同受注グループ“ソラトヤマ”」を設立した。中核企業として当社社長が会長を務める。航空機メーカーは輸送費削減や納期短縮のため、複数工程をまとめて発注する傾向が強まっている。グループのネットワークを活かして、さらなる受注拡大を目指す。

富山県の航空機産業

第二次世界大戦前、生産量・産業人口共に世界有数の航空大国であった日本は、敗戦後、関連産業分野を全面的に禁止・解体された。一時は、欧米に技術力で大きく水をあけられたが、現在は持ち直し、防衛省の航空機開発や、民間ではエアバス社・ボーイング社の共同開発パートナーとして参入、また国産旅客機（三菱リージョナルジェット機MRJ）開発など、再び世界から注目されている。富山県内では、世界の航空機産業に古くから工作機械を供給し続けるメーカーが多く、石金精機など6社で航空機部品の共同受注に向け新組織を設立し、新たな航空機産業の発展に挑んでいく。



会社データ

- 創業 1951年
- 設立 1969年
- 代表 清水克洋
- 所在地 富山市流杉255
(富山市第二機械工業センター内)
- TEL/FAX TEL:076-423-8317
FAX:076-425-0242
- U R L <http://www.ishigane-fas.co.jp/>
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 78人
- 取扱製品 航空機関連部品の製作、
工作機械、半導体装置、
HDD組立装置、省力機械
等の精密機械部品の設計
製作、自動車部品の試
作、医療関連部品の製作



NC旋盤の素材自動供給装置開発 回転止めずキズなし装着に成功

本事業における成果

- キズを発生させない素材装着方法を考案
- 新しい方法による自動供給装置を開発
- 月産加工能力の向上

1 会社の概要

1951年1月、自宅を作業所にして旋盤1台で創業。1961年、高岡市中田に工場を新設し、1963年から田中精密工業株式会社のリテーナー旋削を受注し始めた。1983年、現在地に工場を移転。金属の切削加工、研削加工の量産を得意とし、レシプロエンジンの中のピストンとコンロッド（連結棒）を連結するための中空状のピン「ピストンピン」、クランクシャフトとコンロッドを連結する「クランクピン」を製造してきた。

1989年に、ローラーやホルダーといった四輪足回り部品の加工も開始。20年ほど前から、ホンダが開発したVTECエンジンの動作部品であるロッカーアームを構成するストッパーピストンを加工するようになった。現在は、売上の約60パーセントをストッパーピストンが占めている。

社訓は「勘考」。創意工夫を絶えず考え、努力す

ることを意味する。小型の部品が多いが、車の心臓部である高性能エンジンを完成させるために求められる品質水準は高く、高品質の部品を量産し続けることは容易ではない。製品の果たす役割や特性を熟知した上で、その特性を実現するための加工と、それに必要な設備を考え、より高品質な製品を作ることを目指してきた。「品質第一」に、既存の機械に満足することなく、社内で考案した機能を付加したオリジナルの加工設備を開発し、省力化・省人化による低コストで高品質な製品の加工に挑戦し続けている。

2 補助金事業の内容

自動車産業界は、リーマンショックを契機とする金融危機と世界同時不況を乗り越える過程で、海外生産の増加によるグローバル化が加速した。企業間の国際競争が激しさを増す中で、環境変化に迅速に対応しつつも、開発力や生産効率の面で競争力を最大化させる必要がある。

また、ますます厳しくなる環境・エネルギー政策に対応するため、自動車エンジンの軽量化、部材の削減、作業の効率化、コスト削減に対する取り組みとして、鑄造技術の向上が進められてきたが、鑄造技術では補えない部分の追加工を目的に旋削工程の



ストッパーピストン。
左が旋削前、右が旋削後



NC旋盤で旋削中のストッパーピストン



自社開発の自動供給装置と取り付けたNC旋盤

開発を行ってきた。

主力製品であるストッパーピストンについて、自動車メーカーが要求する品質水準がこれまで以上に厳しくなり、素材にキズを全く付けない高品質、かつ高速度の旋削加工が求められるようになった。これを実現するため、本事業で最新式のNC（数値制御）旋盤を導入し、素材を自動供給する装置の試作開発に取り組んだ。

素材の自動供給装置は従来から工場で使用しているが、NC旋盤のクランプ（固定）装置「コレット」に素材を装着する際、コレットの回転数を下げて装着していた。それでも、回転しているコレットに素材を挿入するため、キズを完全に防止することは難しく、無キズの製品を旋削する際は、毎回コレットの回転を止めて素材を装着し、キズの発生を防止していた。しかし、この方法では、素材の供給に時間がかかる上、減速と加速を繰り返すためにモーターが発熱して故障の原因にもなった。

そこで、NC旋盤のコレットの回転に同期した回転を素材に与え、同じ回転速度で装着することによって、挿入時のキズの発生を防止するシステムを考案。新たな自動供給装置を設計し、本事業で導入したNC旋盤に搭載した。



NC旋盤に取り付けた素材の自動供給装置



今回導入したNC旋盤と自社開発の自動供給装置

3 補助金事業の成果

自動供給装置の開発では、素材の挿入方法や回転速度などについて何度もシミュレーションを重ね、社訓である「勤考」の言葉通り、創意工夫に努めた。

素材挿入時のキズの発生を防止する仕組みは、高品質な製品を安定的に生産することを可能にし、顧客の求める品質を達成することができた。

また、従来はコレットの回転を止めていた回転停止分のロス時間がなくなったため、生産効率にも大きく貢献。最新のNC機能を搭載したNC旋盤で、旋削加工時間自体も短縮され、ストッパーピストン1個当たりの加工時間をトータルで1.5秒速くすることができた。月産加工能力は、目標としていた20パーセントアップを達成した。

4 今後の展望

本事業で考案した素材の自動供給装置は、品質と生産効率の向上に直結するもので、今後の競争力の強化が期待できる。

当社では、多くのNC旋盤と自動供給装置が24時間稼働しており、今回開発した自動供給システムをほかのNC旋盤にも応用していくことを計画している。



会社データ

- 創業 1951年1月
 - 代表 小笠原栄一
 - 所在地 高岡市戸出春日805
 - TEL/FAX TEL:0766-63-5364
FAX:0766-63-5838
 - E-mail ogasawara@
P2332.nsk.ne.jp
 - 資本金 3,000万円
 - 従業員数 14人
- 取扱製品 ピストンピン・クランク
ピン・ストッパーピストン等のエンジン機能部品、ローラー・ホルダー等の四輪足回り部品

高機能ロボットで研磨加工を自動化 伝統産業の職人減少リスクを軽減

本事業における成果

- 「磨き」技術についての理解が深まった
- 外注依存体質の改善
- 品質の安定化

1 会社の概要

1889年に銅器・仏具製造の小泉鋳造所として創業した老舗メーカー。現在は仏具、音響クラフト、精密バルブ、機械部品など銅合金の鋳造加工を行う。主力の仏具に加えて、近年は「快音」をテーマにした音響クラフトの商品開発に力を入れている。

仏具は、仏壇の小型化などに伴い、市場規模が縮小傾向にあるが、近年人気がある小型仏壇向けに販社などと共同開発した「おりん」と「専用りん棒」が2005年にグッドデザイン賞を受賞。現代的で洗練されたデザインと音の響きが高く評価され、主力製品に成長した。2010年には卓上ベル「pear」が同賞を受賞。「社会生活に役立つ商品を創造し、社会生活に寄与する」との経営理念のもと、自社製品を通して生活に彩りや癒しを提供したいという思いから、2012年にオリジナルブランド「小泉屋」を立ち上げた。おりんやカウンターベル、ドアベル、風鈴など

音とデザインにこだわった商品開発を進める。

3Dプリンターやモデリングマシン、レーザーマーキングなどの最新技術も積極的に導入し、400年以上続く高岡銅器の伝統を基軸に革新的な製品づくりに挑戦している。

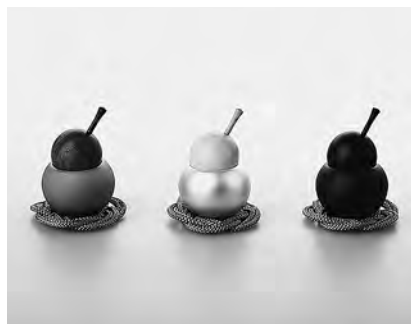
2 補助金事業の内容

高岡銅器の製造は、伝統的に分業体制がとられてきた。原型製作、鋳造、加工、研磨仕上げ、表面処理・着色に分けられ、当社では「原型製作」「研磨仕上げ」「表面処理・着色」を外注している。しかし、高岡銅器の製造従事者は年々減少。特に磨き職人の減少は深刻で、ピークだった1990年の97人から、2012年には40人を切るまでになった。職人の高齢化も進んでいる。

しかし、主力製品の「おりん」や人気を集めている音響クラフトは、研磨による鏡面仕上げ製品のニーズが圧倒的に高い。美しい鏡面仕上げの製品は、外国人にも人気がある。このため、磨き業者の休業などが生産工程の支障となり、売上の減少に直結するリスクが浮上。将来的なリスクに備える目的で、外注依存体質の改善と品質の向上・安定化のため、仕上げシステム用ロボットを活用した自動研磨システムの開発に取り組んだ。



カウンターベル「Melody of forest」



卓上ベル「pear」座布団付き



製品（鋳物）



製品（切削）



製品（研磨）

3 補助金事業の成果

今回の事業では、知能ロボットと周辺機器を組み合わせた仕上げシステム用ロボットを導入した。

最大の難関は、職人の持つ「匠の技」を再現する方法だ。磨き作業では、布で作られたバフ（研磨に使用する円盤状の素材）をグラインダーにつけて高速回転させ、職人が回転するバフに加工物を押し当てて表面を磨く。「荒磨き」「仕上げ磨き」の2段階で行い、使用するバフの種類は異なる。押し当てる力が弱いと表面がきれいにならず、強すぎるとスジがついてしまう。加工物の温度変化も仕上がりに影響することが分かった。

これらの課題を解決するため、外注先の磨き職人から作業動作や手順などの「こつ」を伝授してもらい、システムの構成やロボットの動作に反映させた。最終的には、ワックスを自動供給する機能を備えたバフホルダーを2基設置し、スイングアームで把持した加工物を回転する2基のバフに順に押し当てて磨きを完成させる仕組みを考案した。バフの摩耗をセンサーで検知し、加工物を押し付ける力を一定に保つことや、「加工物の確実な保持」「旋回角度240度以上」など、職人技を再現するためのシステム開



自動研磨システムで加工中の製品



知能ロボットを用いた自動研磨システム

発に尽力した。

この結果、受注から納品までのリードタイムが約40パーセント短縮でき、生産能力のアップに大きく貢献した。

4 今後の展望

本事業で開発した自動研磨システムは現在フル稼働しており、当初の予想より20パーセント多い生産量を達成している。しかし、外注量が減ったわけではない。同一製品の磨き作業にかかる時間は、職人の方が機械よりも2倍速く、コストも低い。技術力も、細かな工芸品の高度な仕上げなどは、機械にはまねできないものだ。それでもなお、システム開発によって、職人の休業による売り上げ減少のリスク回避、主力製品の品質の安定化と生産力増強が達成できた成果は大変大きいものだった。

また、自動研磨システムを取り上げた新聞記事を見た企業から問い合わせがあり、「磨き」自体をビジネスとする新たな事業展開も検討している。



会社データ

- 創業 1889年
- 代表 小泉俊博
- 所在地 高岡市戸出栄町57-5
- TEL/FAX TEL:0766-63-6590
FAX:0766-63-6591
- E-mail info@super.co.jp
- U R L http://www.super.co.jp
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 15人
- 取扱製品 仏具、音響クラフト、精密バルブ、機械部品



富山県産コシヒカリを使った ふっくらおいしい米粉パンを開発

本事業における成果

- ミキシング工程の効率化
- 米粉パンの品質安定化
- 高品質の商品開発に挑戦するための体制ができた

1 会社の概要

高岡市民におなじみの老舗パン製造卸会社。1951年11月、高岡市上栄町（現在の川原町）に先代・澤谷常正氏が「さわや食品工業所」として創業した。1958年9月、高岡市昭和町に工場を新設して移転、1963年8月、法人化で「さわや食品株式会社」となった。

現社長が就任した1976年、大きな転機が訪れた。事業の大黒柱だった学校給食に、米飯が導入された。同業者が減少していく中で、「地元の子もたちには、地元で作ったパンを食べてもらいたい」という信念と、「先代から受け継いだお客様の期待に応えたい」という思いで、販路拡大に努めた。

卸先が、学校給食や病院施設中心から、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどに広がったため、2011年8月、現在地に移転拡張した。創業の地・高岡を離れることについては、相当逡巡したが、

昭和町の工場で使っていた庄川の伏流水が、現在地でも比較的浅い井戸で採取できたことが、大きな決め手となった。

水に対するこだわりと同様に、材料にこだわった商品開発に力を入れている。富山県産コシヒカリを使った米粉パンや、富山県産米粉を使ったパン生地にも県民の大好きな北海道産の刻み昆布を混ぜ込んだ昆布パンなどの商品開発にも取り組み、「地産地消は地域に根差した企業の使命」と考えている。

「わが社の信者を創ること」を社是に、安心・安全の食品づくり、素朴な中にも斬新さがある商品開発に、社員一丸となって邁進している。

2 補助金事業の内容

創業初期から売り上げの中心だった学校給食販売は、1976年の米飯給食導入によって減少し、パン給食の回数は右肩下がりで減っていった。米飯増加の流れは、さらに進むとみられ、パン給食の売り上げについては、苦しい状況が続いていた。

2000年ごろ、高岡市立古府小学校から「特別給食の献立に米粉パンを取り入れたい」という要望があり、製造に挑戦した。この時の経験をきっかけに、米粉パンの需要拡大を重要戦略と位置付けて、商品開発に取り組むようになった。



米粉食パン



米粉と刻み昆布を混ぜた昆布パンの生地



焼きあがった米粉食パン

米粉パンの多くは小麦粉を主体に米粉を加えて作られているが、ボリューム、老化性（硬くなりやすい性質）、香り、味覚の点で、小麦のパンに劣っていた。「おいしい米粉パン」を作りたいという一心で、米粉と小麦粉の比率を調整したり、米粉100パーセントの製パンに成功したという山形大学の製法を参考にしたり、試行錯誤を重ねた結果、米粉を α 化（デンプンが糊状になること）し、ペースト状にして製造するオリジナル製法を開発。ボリュームは約1.2倍に膨らみ、老化は約2日延び、米ぬか臭がなくなり、最初の食感と香りが大幅に改善できた。

しかし、米粉パンの生地はとても繊細なため、 α 化した米粉とほかの材料を混ぜて生地を作る作業を手作業で行っていると、安定した品質を保つことが難しく、効果的・効率的な製造のために「横型高速ミキサー」の導入を検討。機械による繊細なミキシング工程が加われば、その後の発酵工程で米粉パンが十分に膨らみ、おいしいパン生地を作ることが可能になることから、本事業を申請した。

3 補助金事業の成果

問題だったミキシング工程は、今回の横型高速ミキサーの導入によって、安定した品質の実現と効率化を達成することができた。



工場内の製造風景



補助金事業で導入した横型高速ミキサー

ただ、小麦パンよりコストが高い米粉パンは、激しい価格競争の中で、まだ確固たる売上の柱には成長していないのが実情だ。現在は、米粉の割合を80パーセントまで高めた高付加価値商品の製造に再チャレンジし始めたところで、既存パンとの差別化を図りたいと考えている。砂糖・塩といった副原料の選び方、発酵時間の調整、製パン方法の改良など、さらなる課題解決に向けて、鋭意取り組んでいる。

4 今後の展望

クリアすべき課題が多い米粉パンの開発にこだわるのは、農家の出身という社長のコメへの愛着と、食品づくりに関わる者として食料自給率の向上に貢献したいという熱意が根底にある。

学校給食にも、米粉50パーセントのコッペパンを納入している。米粉パンのおいしさを子どもたちに知ってほしいとの思いから、ほかの種類のパンと異なり、当日朝に焼き上げて学校に届けている。

現在は、新商品開発にむけて「富山県産コシヒカリ」の米粉、富山県産小麦粉「ゆきちから」、高岡市産のリンゴ、射水市産の小松菜など、地元食材をアレンジした地産地消のパン作りに挑戦している。



会社データ

- 創業 1951年
 - 代表 澤谷晴彦
 - 所在地 射水市広上2000-35
 - TEL/FAX TEL:0766-51-6388
FAX:0766-51-6390
 - E-mail fwnn9536@
mb.infoweb.ne.jp
 - 資本金 1,000万円
 - 従業員数 48人
- 取扱製品 パン、洋菓子、和菓子、
サンドイッチ

スウェーデン式サウンディング試験の諸問題を改善し、信頼性の高い地盤調査を提供

本事業における成果

- 住宅地盤調査における問題点を、特別仕様のスウェーデン式サウンディング試験機及び超軽量・小型クローラドリルを中心に様々なサウンディング試験をシームレスに組み合わせた簡便・多機能・低コストの調査手法によって解決

1 会社の概要

東城建設株式会社（2014年現社名に変更）として創業以来、地元を中心に林道整備や地滑り対策工事、治山工事や砂防工事のほか、電源開発関連の工事や都市土木などにも携わり、実績を重ねてきた。

地滑り工事を通じて新川地区ではいち早くボーリング技術を習得し、地質調査、測量工事へと業容を拡大。昭和60年代より総合建設業として多角化に乗り出す中で、地質調査・測量部門の強化を図り、建築部門へ本格参入した。

また、2002年度より土壌や水、大気を調査して科

学的に解析する環境計量分野にも進出。

富山県バイオトップ研究会に参加し、自然環境と生態系に配慮した土木工事のあり方を探る。

2 補助金事業の内容

住宅地盤調査では、一般的にスウェーデン式サウンディング（SWS）試験という手法が用いられる。ボーリング調査に比べて安価で手軽な地盤調査方法であるが、貫入能力が低いため、土中にレキやガラがあると貫入障害を起こし易く、地中の固い地盤に達して貫入不能となる場合もあり、地盤状況の正確なデータが十分に得られないことがある。また、土質判定は貫入時の音や測定者の感覚によって判断されるため、大まかな区分しか行えない。

様々な異常気象と巨大地震が多発する今日、宅地防災の観点から従来の調査より高精度な調査が求められるが、ボーリング調査を追加すれば費用がかさむ。そこで、補助金を活用し、長年培った技術を取り入れて改造したSWS試験機と超小型クローラドリルを導入し、新たな発想による調査手法を構築することによって、コストを抑えつつSWS試験にお



全自動スウェーデン式サウンディング試験機「ウルトラサーチUR-3型 特殊仕様」

空圧荷重制御により自沈層を高精度に測定可能。高トルクの為、専用治具を用いることで碎石層も貫入可能。



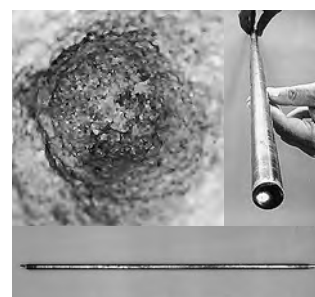
超軽量・小型自走式パーカッションドリル「zekeR 特殊仕様」

ドリルヘッド部を開閉可能に改造し、通常のボーリング調査と同様の各種原位置試験の実施が可能となった。ウォータースイベルを装着すれば湿式のロータリーボーリングも可能。



動的回転式サウンディング試験（DSPT）

N値（地盤の硬さを示す指標）20まで測定可能で、傾斜地や超狭小地で能力を発揮する



SWS試験用の中空強化ロッド（下）に直径5.5mmの防水型ファイバースコープカメラを挿入（右上）。孔内の土質状況を目視観察・撮影が可能になった（上左）

ける諸問題の改善を図った。

3 補助金事業の成果

まず、全自動SWS試験機のウルトラサーチUR-3型のトルクを約2倍に高める改造を施し削孔能力を向上させるとともに、各種ドリルツールや治具を用いて密な砂や硬質な粘性土、薄い礫層の貫通が可能となった。一方、軟弱な自沈層に対しても、本機の特徴である空圧による高精度な荷重制御により土質性状の変化を詳細に把握できるようになった。さらに、液状化の調査で必要となる土質試験試料の採取や地下水位の測定についても専用ツールを使って対応。

上記SWS試験機で貫入障害が生じる土層の場合は、打撃回転方式クローラドリル「zekeR」を併用する。超軽量・超小型でありながらコンクリートやレキを容易に掘削する能力で、迅速にプレボーリングを行い、基礎地盤の状況把握につなげる。本機はもともと土壤汚染調査用の乾式ボーリングのために開発されたものであるが、油圧システムの改造と専用のウォータースイベル（ボーリングロッド内に送水を行う装置）を装着させることにより、湿式のロータリーボーリングを可能としている。さらに、通常のボーリング調査と同等の地質調査が行えるように、コンプリー増設、ドリルヘッド部の開閉機能追加等の改造を施し、標準貫入試験を始めとする多様な孔内原位置試験を実施可能とした。本機の最大の特徴は、様々な機能を集約した自走機でありながら機体重量500kg・機械幅60cmに留めたことにある。これにより、運搬コストを抑えるとともに、従来機が苦手とする狭小地への搬入が容易になった。

本事業は、上記2機種によるSWS試験の測定精度改善のみには留まらない。画一化されたSWS試験主体の地盤調査では行き届かなかったユーザー目

Multiple sounding multiple sounding test system



地盤を探る

地盤調査サービス「マルチプル サウンディング」の構想図

このネーミングはハワード・ガードナーのMI理論(Theory of Multiple Intelligence)に由来し、様々なユーザーニーズや地盤条件に応じた多角的な視点による調査サービスを目指すものである。

線のサービスを提供可能とするため、マルチプルサウンディングと称する地盤調査サービスを新たな発想で構築した。このサービスは、SWS試験を中心に、動的回転式サウンディング試験機(DSPT)、中～大型動的貫入試験等の様々なサウンディング試験をマルチプルな観点から組み合わせ、ユーザー各々のニーズに合わせた地盤調査サービスをシームレスに提供するものである。

4 今後の展望

本事業で構築された地盤調査サービスは汎用性が非常に高く、建築分野だけでなく、土木分野や、環境分野等の幅広い分野での適応が期待される。

経済性、安全性のみならずロハス志向等、今日の多様化したユーザーニーズに応えるために、画一的な地盤調査とは異なるマルチプルな観点から地盤調査をシームレスに提供し、当社がユーザー各々の御用達となることを目指す。そして、今後も新しい調査手法の研究・開発を継続していく。



会社データ

- 創業 1953年11月7日
- 代表 吉田 讓
- 所在地 魚津市六郎丸2935
- TEL/FAX TEL:0765-23-1110
FAX:0765-23-0200
- U R L <http://www.tojonet.co.jp/>
- 資本金 4,000万円
- 従業員数 40人

- 取扱製品 総合建設業。地質・土質の調査、水質・大気・土壌などの環境分析、のり面緑化、斜面安定工事、森林土木工事、砂防・護岸工事、道路工事、橋梁・トンネル補修工事、公共施設や住宅の建築などを手掛ける。このほか、下水道管路施設維持管理業務、路面清掃、ピオトップ設計・施工、不動産業にも携わる。調査から測量・設計、施工・補修までを一貫して行える体制を強みとする。

新ブランドがもたらした追い風を生かし 伝統とモダン、2軸の高岡銅器で世界へ

高岡銅器発祥の地、高岡市金屋町で代々銅器の企画製造を手掛ける四津川製作所。花器や香炉、鉄瓶など暮らしを彩るさまざまな金属工芸品に携わってきました。平成26年から現代の生活スタイルに合う新ブランドを展開し、高岡銅器と山中漆器を組み合わせたスタイリッシュな器が国内外で注目を集めています。四津川元将社長に、新ブランドにかかる思いや市場開拓への意気込み、理事長を務める高岡銅器協同組合の取り組みについてお聞きました。

有限会社四津川製作所

代表取締役 四津川 元将 氏

金属と木、異素材のコラボ

Q. テーブルウェアを中心とする新ブランド「kisen (キセン)」のぐいのみやカップが国内外で高い評価を得ていますね。

平成26年、kisenブランドとしてぐいのみ8種類を「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2014」に出展したところ、ブース前に人だかりが絶えないほどの反響がありました。特にデパートのバイヤーからの引き合いが多く、早々に具体的な取引につながったことが広く認知されるきっかけとなり、取扱店も次々と増えていきました。その後、ドイツの国際見本市にも招待され、海外市場開拓への手ごたえをつかみました。

住宅事情の変化や景気低迷で伝統的な銅器の需要が減少する中、思い切ってテーブルウェアに新規参入することを決めたものの、kisen誕生に至るまでの数年

間は悶々としていました。金属と木を組み合わせることを思いつき、訪ねた山中漆器で素晴らしい職人さんとの出会いがあって、試作を重ねた末、伝統技法で着色した金属を土台に用いて木杯を組み合わせたユニークな形状のぐいのみが実現しました。金属の重量感が持ったときに安心感をもたらし、使い心地の良さを実感できます。

kisenは代々続く屋号「喜泉」から付けました。「人々の暮らしに喜びと潤いを添えたい」という思いを受け継いでいます。自分たちの手で、自社商品の市場を開拓しようと決意しています。

ものづくりの姿勢受け継ぐ

Q. 高岡銅器メーカーとして創業から70年の歩みをお聞かせください。

祖父が昭和21年に興した銅合金の鋳物工場が当社の原点です。友人の日展作家の方にデザインを

依頼した花瓶の製造で高い評価を得たそうです。高度成長期には高岡銅器がギフトとして多く利用されるようになり、二代目の父は需要を取り込むべく大量生産できる鉄鋳物へと生産体制を変更します。他社ブランド製品の製造だけでなく自社商品の企画にも乗り出し、業界ではいち早く精密な鋳造や多彩な着色技法を取り入れ、特に香炉の企画では高岡一と知られるようになりました。昭和57年に法人化と同時に自社工場を閉鎖し、以降、ファブレス（工場を持たない）メーカーとして企画販売に力を注いできました。

職人上がりの父は原型製作に人一倍手間をかけ、常に完成度の高い製品づくりを目指していました。父が他界した後、33歳で後を継ぎましたが、家業は勿論、時代に応じて業態を見極めてきた先見性に学び、ものづくりに対する厳しい姿勢を引き継いでいくことも使命と考えています。kisenの勢いを生かして日本から世界の市場へと知名度を広げることができたら、少しは恩返しになるのではないかと思いながら仕事に打ち込んでいます。



左：平成28年9月にオープンした本社ショールーム／右：kisenのカップ。真ちゅうの重さを利用し「揺れるけど倒れない」形状とした

プロフィール

よつかわ・もとまさ

昭和37年8月1日、高岡市生まれ。56年、富山県立高岡高校卒業、60年、中央大学商学部経営学科を卒業、61年、有限会社四津川製作所に入社、平成8年、代表取締役役に就任。28年5月、高岡銅器協同組合理事長、伝統工芸高岡銅器振興協同組合副理事長に就任、現在に至る。高岡商工会議所議員。



好調の波が従来品に波及

Q. kisenは海外でも高く評価されていますが、今後どのような展開を目指していますか。

kisenの好評価により、訪日旅行者向けの商品を探していたデパートから声が掛かり、香炉や鉄瓶といった既存商品を提案したところ、予想を超える引き合いがありました。海外では、むしろ日本文化が息づいた銅器が高く評価されることも分かり、これからは、伝統的な銅器の「喜泉堂」ブランドと、現代生活に沿ったkisenブランドを2軸とした事業展開を考えています。一方が揺らいでも片方が支えになり、人脈や販路も広がり相乗効果も期待できます。喜泉堂が既に大きな幹ですが、kisenは自由にチャレンジしていくブランドとして大きく育てていきたいと思っています。

喜泉堂ファンにはkisenを、kisenファンには喜泉堂をといった具合に双方に関心が向くような仕掛けも必要です。平成28年の秋にオープンしたショールームはワンフロアで双方の商品が見渡せるような工夫を凝らしています。

海外展開についても、今は中国市場が中心ですが、昨年に続きドイツの国際見本市に出展するなどして、欧米での販路拡大に

つなげる考えです。ブランドプロデューサーとしてkisenを主導する弟は海外でのビジネス経験があり、各国バイヤーと直接やり取りできるのが強みです。ここ数年間突っ走ってきて振り返ると、運に恵まれてきたことを強く感じます。それがいつまで続くかわかりませんが、今はアグレッシブに進むべき時と思っています。

東京で即売会、継続を

Q. 高岡銅器協同組合理事長に就き、組合初の試みとして東京で開催した展示即売会「楽縁市」の成果についてお聞かせください。

銅器業界の市場縮小が続く中、まずは業界の底上げにつながる販売チャンスをつくろうと、首都圏での展示即売会を提案し、平成28年11月、東京にある富山県のアンテナショップ「日本橋とやま館」で「楽縁市(らくえんいち)」を開催しました。

組合として初の試みでしたが、出入り口に飾った垂れ幕のインパクトや立地の良さも手伝って、多くの来場者がありました。興味を持ち再訪してくれた方や「来年も開いてほしい」という声もいただき、高岡銅器をアピールするという点では成果があったと思っています。見せ方に工夫を凝らしたこと、とやま館の方からも「魅力

がよく伝わっていた」と大変好評でした。

大切なのは次年度以降も継続して開催することであり、組合員が楽縁市に照準を合わせて新作を発表するくらいに発展させていくことが目標です。ただ、組合のこうした活動に参加するのは60社中毎回10社ほどに限られており、楽縁市も14社にとどまったのは残念でした。売り場に立って消費者の声を直に聞く数少ないチャンスなので、1点でもいいから参加してもらえるような仕組みづくりも課題の一つです。富山県もものづくり支援を打ち出しており、業界も好機をとらえて積極的に進む姿勢が大切です。

昔の仲間と盛り上がる

Q. 休日はどのようにリフレッシュしていますか。

昔の仲間や学生時代の友人たちと和気あいあい、当時の話をして盛り上がるというのが今一番の息抜きになっています。飲み会だったり、ゴルフだったり。自然にその頃に戻れるような付き合いというのはビジネスではあり得ないことです。しかもありがたいことに、商売についても損得抜きで応援してもらっていますので、それに応えていかなければと思います。

富山美術商協同組合さんよりこんにちは

古美術と言えば古い時代の陶磁器や掛け軸、絵画、彫刻などの美術品を指し、最近では、これらの鑑定を行うテレビの人気番組もあることから、興味を持っている方も多いのではないのでしょうか。

このような古美術を優れた目利きにより売買を行うのが古美術商ですが、全国的に見て古美術商には富山出身者が多いということをご存知でしょうか。これは、八尾町（現富山市）出身で明治・大正時代から昭和にかけて活躍した古美術商である廣田不孤斎（壺中居創業者）や繭山松太郎（繭山龍泉堂創業者）らが、東京で大きな成功をおさめ、これらの店で多くの富山出身者が丁稚修行をし、その後独立したためと言われています。

今回は、31都府県を地区とし、県内外の古美術商で組織する富山美術商協同組合を紹介します。

◆組合のあゆみ

昭和25年、富山県内外の美術商らにより株式会社富山美術倶楽部を設立、同倶楽部が建てた社屋は古美術商や美術品愛好者らの拠り所となり、オークション会場や地域の文化事業の会場として活用されました。富山美術商協同組合は、昭和53年、倶楽部社屋の建て替えを機に、同倶楽部所属の25都府県の古美術商325名により設立され、オークションの運営や組合自己資金による組合員への貸付などの共同事業を実施してきました。



オークション会場を備える富山美術倶楽部社屋

◆組合の主な事業

組合の事業の中心となるのが、古美術品のオークション事業です。組合では、設立と同時に、県公安委員会から古物市場主の許可を得て、常設市場としてオークションを定期的に開催しています。オークション事業には組合員のみが参加でき、組合員が顧客から仕入れた品や委託を受けた品を出品し競り売りするものです。買い手の組合員も顧客から依頼された品などを求めて参加します。富山に全国から様々な商品が集まっていたということもあり、県外の組合員も多く所属しており、冒頭の鑑定番組の人気レギュラー鑑定士もかつて組合に加入していた時期があります。ピーク時のバブル期

には、組合が受け取る手数料だけで数億円という年もありましたが、近年は組合員数や取扱高の減少もありオークションの開催数は縮小。現在では、毎月開催する富山会のほか、秋・春の交換大会として4月の倶楽部交換会、10月の美術富山県人会、また、青年部組織にあたる富山美術青年会による交換会が開催されています。



オークションの様子

◆今後の取り組み

組合員の後継者の不在、市場に流通する商品の減少、中国向け需要の減退など、業界の抱える課題は多岐にわたります。このような中ですが、組合では、倶楽部や組合の運営体制の見直しを進めるなど、今後も小規模零細業者が多い業界の発展のため事業活動を行っていくこととしています。

組合概要

組合名称 富山美術商協同組合
設立 昭和53月11月6日
住所 富山市舟橋南町5番9号
理事長 東森資明
組合員数 182名
TEL 076-432-5081 FAX 076-444-5347

日本橋とやま館で展示即売会「^{らくえんいち}樂縁市」を初開催

高岡銅器協同組合

高岡銅器の間屋で組織する高岡銅器協同組合では、平成 28 年 11 月 21 日(月)～11 月 27 日(日)に、日本橋とやま館(東京都中央区)において、展示即売会「樂縁市」を開催しました。

今回の「樂縁市」は、同館で県が開催した伝統工芸品フェアの一環として開催したもので、高岡銅器 400 年の伝統の技術により製作された干支の置物などの縁起物をテーマに組合員 14 社が約 130 品を出品しました。

東京では季節外れの雪の日や、事前の集客などのプロモーション不足もあったせいも、目標としていた売上金額には少し届きませんでした。高岡銅器の知名度アップや大消費地での評価などを把握するうえでの成果はみられたことから、組合としては今後も継続して「樂縁市」を開催していきたいと考えています。



期間中は出入口にバナーを設置した



干支などの縁起物を中心に出品

富山市、高岡市他と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結

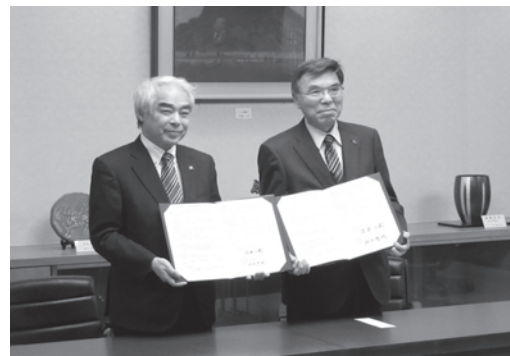
富山県電気工事工業組合

富山県電気工事工業組合は、1月27日(金)に高岡市と、2月1日(水)に富山市と、「災害時における応急対策業務に関する協定」をそれぞれ締結しました。協定は、県下はもとより全国にわたる組合のネットワークを活かし、災害時は被害の少なかった地域から被災地への迅速な応急対策を行う内容となっており、同組合と市町村との災害協定は、射水市、小矢部市、滑川市、魚津市と今回の2市を加え、6つ目となりました。

組合では、ライフラインである「電気」を安全に皆様のもとへお届けするため、今後も市町村との協定を進めていきたいとしています。



杉本理事長(左)と森富山市長



高橋高岡市長(左)と杉本理事長(右)

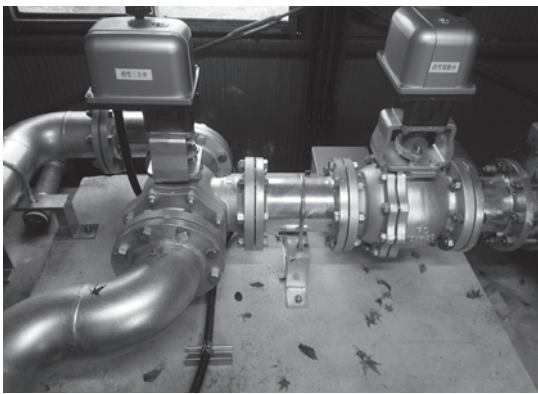
工場団地内の市道融雪装置への水提供を開始

婦中鉄工業団地協同組合

平成 28 年 11 月、婦中鉄工業団地協同組合（富山市婦中町萩島）の組合団地内を通る市道の融雪装置が完成しました。組合では共同受水事業用の複数の井戸を所有していたことから、融雪装置の設置は富山市が行い、水の供給を組合が行うという官民協力の形により今回実現しました。

団地内の市道は、富山中部広域農道と県道富山八尾線を南北に結ぶ道路にもなっており、組合員のほかにも普段から一般車の通行量が多いこともあり、平成 26 年 10 月には組合から市に対して融雪装置の設置要望書を提出、平成 27 年度には現地調査事業が予算化され、今年度に工事が着工しました。一方で、組合では、組合団地に隣接する沿線企業とも協議を重ね、受益者負担について覚書を交わすなどの準備も進めていました。

組合では、以前にも町内会と協力して団地内に防犯カメラ設置をしたこともあり、今後も地域と協力的な形で団地環境の整備を進めていきたいとしています。



組合所有の井戸に直結された三方弁と電動弁



団地内の市道に完成した融雪装置

価格交渉サポートセミナーを開催

富山県鋳物工業協同組合

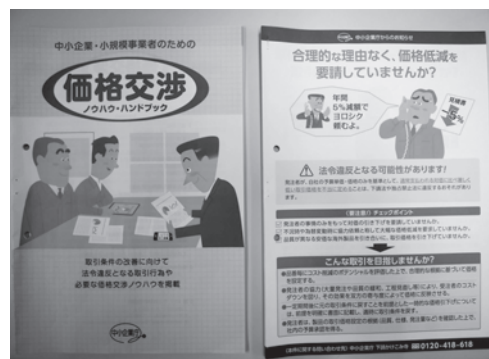
11 月 29 日（火）、富山県鋳物工業協同組合は、高岡地域地場産業センター（高岡市）において、価格交渉サポートセミナーを開催しました。

セミナーには組合員企業の役員ら約 20 名が出席し、全国中小企業取引振興協会から派遣された西井克己講師（株式会社迅技術経営代表取締役・中小企業診断士・石川県金沢市）より、中小企業庁が作成した価格交渉ノウハウ・ハンドブックの内容や、金型保管の費用負担対策などについての説明を受けました。

価格交渉サポートセミナーは、下請等中小企業の価格交渉力の強化を支援することを目的に中小企業庁の平成 28 年度の新規事業として実施されたもので、各都道府県や業界団体別のセミナーが開催されました。



セミナーの様子



当日のテキスト

組合創立50周年記念式典を開催

富山県板金工業組合

富山県板金工業組合は、2月4日(土)、ホテルグランテラス富山(富山市)において、創立50周年記念式典・祝賀会を開催しました。

式典には、組合員のほか、行政や関係機関など約200人が参加し、全国板金工業組合連合会の石本惣治理事長らが祝辞を述べたほか、永年勤続等の組合員への記念表彰などが行われました。

同組合は、昭和42年に設立され、組合員の技能向上や安全衛生に関する教育事業、労働保険事務組合や全板国保、全板年金基金などの福利厚生事業を実施するなど、建築板金業界の振興発展並びに組合員の経営安定に寄与してきました。



吉岡八義理事長による開会挨拶



表彰受表彰者らによる記念撮影



昨年12月から新しい洗濯表示が始まりました ～5つの基本記号と付加記号の組み合わせで表示されます～

昨年12月から繊維製品の「取扱い表示」が、従来の日本工業規格 JIS L 0217 から JIS L 0001 に変わりました。5つの基本記号と付加記号の組み合わせで表示されるようになりましたので、新しい表示を覚えて大切な衣類を正しく取り扱しましょう。



家庭での洗濯のしかた



漂白のしかた



乾燥のしかた

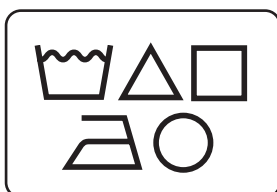


アイロンのかけかた



クリーニングの種類

▼基本記号



▼付加記号

強さ	線なし 通常	— 弱い	== 非常に弱い	✕ 禁止
温度	● 低い	●● ←————→	●●● 高い	

新しい洗濯表示の詳細については、消費者庁ホームページをご覧ください。
(情報提供 富山県クリーニング生活衛生同業組合)

事務局ペンリレー

富山県にはたくさんの温泉がありますね。お好きな方も多いのではと思いますが、私もその一人です。いいお湯があると聞けば県内だけでなく、県外にも足を伸ばしたりしています。

ところで源泉の種類っていくつあるかご存知ですか？ 答えられたあなたは立派な温泉マニア(笑)。おおむね、単純温泉、二酸化炭素泉(炭酸泉)、炭酸水素塩泉(重曹泉など)、塩化物泉、硫酸塩泉(石膏泉)、含鉄泉、含アルミニウム泉(明礬泉)、含銅-鉄泉、硫黄泉(硫化水素泉)、酸性泉、放射能泉(ラジウム・ラドン)の11種類に分類できます。あわせて液性、浸透圧、泉温による分類をします。

(アルカリ性・低張性・高温泉など) 県内で言えば宇奈月温泉はアルカリ性の単純温泉ですし、金太郎温泉は中性の含硫黄-ナトリウム・カルシウム-塩化物泉(硫化水素型)、庄川温泉は中性の含二酸化炭素・鉄-ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉、立山の地獄谷は酸性の硫黄泉です。また県内には氷見温泉郷をはじめとしたしょっぱい塩化物泉が多いですね。



少し県外に足を伸ばせば中部山岳地帯は温泉天国。私は硫黄泉が好きなのですが、車で2~3時間ほど走れば岐阜・奥飛騨の平湯温泉、長野・安曇野の白骨温泉や乗鞍高原温泉に行きます。湯に浸かりぼーっとしているだけで、心と体の洗濯をしているような気持ちになって最高ですよ。旅行でも名湯・秘湯に行くことが多いです。

みなさんも休日のドライブがてら温泉に行ってみては如何でしょうか。ぜひお気に入りの温泉や泉質を見つけてください。



富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合
富山市ホテル旅館事業協同組合

事務局 松島 秀樹

組合Q&A

このコーナーでは、日ごろ中央会へ多く寄せられる事業協同組合等の運営に関する質問について回答とともに紹介します。

出資証券紛失の際の取扱いについて

Q 組合員が出資証券を紛失した場合、どのような手続きをしたらよいか。

A 出資証券は、市場性を有する証券ではないから、一般の有価証券と同様に取扱う必要はなく、組合員より紛失届を提出させ、それにより組合は新たに証券を再交付するだけでよい。

組合青年部研究会を開催しました

富山県中小企業青年中央会

富山県中小企業青年中央会（富山UBA）は、2月1日（水）、富山地鉄ホテル（富山市）において、組合青年部代表者会議を開催しました。

会議では、室則次富山UBA会長が開会挨拶をし、その後、青年部の定年年齢や青年部行事への参加率など各組合青年部が抱える課題等について参加者による意見交換を行いました。他出席者より課題解決のためのアイデアが出されるなど、本会議をきっかけに新たな青年部間の連携が生まれそうな様子でした。会議は、多くの意見や質問が出て活発な討論が行われたため、当初の予定時間をオーバーするほどで、会議後の懇親会でも、会議の続きのような雰囲気でも熱心に出席者による交流が図られました。



挨拶をする室則次富山UBA会長



会議では活発な意見交換が行われた

アピアスポーツクラブにおいて女性部・女性経営者等セミナーを開催しました

富山県中小企業レディース連絡会

11月29日（火）、アピアショッピングセンター・カルチャースタジオA（富山市）において、「女性が生き生きと働き続けるためのセルフケア」をテーマに今年度第2回目組合女性部・女性経営者等セミナーを開催しました。

講師のアピアスポーツクラブの銅幸一郎あかがねアスレチックチーフトレーナーより、脳活性の大切さや職場や家で気軽にできる筋力強化につながる運動などについてご紹介いただきました。

健康運動指導士、介護予防主任運動指導員として幅広く活躍されている銅氏の講義や運動指導は、笑いが絶えないセミナーとなり、参加者の皆様方は楽しく学ぶことができました。



脳活性化や筋力強化について紹介がされた



運動指導もあり笑いが絶えないセミナーとなった

創立60周年記念大会第57回中小企業団体富山県大会を開催しました

本会では、昨年11月17日(木)、ホテルグランテラス富山(富山市)において、本会の創立60周年記念大会を兼ねた第57回中小企業団体富山県大会を開催しました。大会には寺林敏富山県副知事、瘡師富士夫富山県議会経済建設委員長をはじめとする来賓及び会員ら約250名が出席し、記念表彰のほか大会決議案の審議を行い18項目の大会決議と宣言を採択しました。また、議事終了後には、嶋聡ソフトバンク株式会社前社長室長による記念講演を開催しました。

講演会終了後には記念パーティーを開催し、出席者の交流を深め、幕を閉じました。



大会には来賓や会員ら約250人が出席した

記念表彰受表彰者 ～受彰おめでとうございます～

(敬称略)

◎中部経済産業局長表彰

【優良組合】

富山県印刷工業組合

【組合功労者】

渡邊 史雄(婦中鉄工業団地協同組合)

◎富山県知事表彰

【優良組合】

富山県ニット工業組合

富山市ホテル旅館事業協同組合

富山県砺波地区生コンクリート協同組合

氷見エルピーガス事業協同組合

【組合功労者】

福澤 直捷(入善機械工業センター協同組合)

杉本 繁機(富山県電気工事工業組合)

泉 貞夫(富山県テントシート工業組合)

井山 泰樹(上新町商工振興協同組合)

【優良専従役員】

小笹 真琴(高岡銅器アルミ協同組合)

寺島 雅子(協同組合富山トラック輸送センター)

◎全国中小企業団体中央会会長表彰

【優良組合】

富山県電機商業組合

【優良組合青年部】

富山県鋳物工業協同組合 鋳青会

【組合功労者】

柴田喜代信(富山県綿スフ織物工業組合)

◎富山県中小企業団体中央会会長表彰

【優良組合】

富山県医薬品卸業協同組合

小矢部建設業協同組合

新川産業センター協同組合

射水造園業協同組合

富山県産地魚商協同組合連合会

協同組合じょうはなフラワーカード会

富山県化粧品小売協同組合

富山県瓦工事業協同組合

【組合功労者】

石崎 光弘(富山県製麺協同組合)

伊藤 一夫(富山県自転車軽自動車商業協同組合)

岩黒 正孝(大門企業団地協同組合)

太田 和也(砺波管工事業協同組合)

大野 功(婦中鉄工業団地協同組合)

大橋 哲夫(富山県石油業協同組合)

金井 勝則(富山県インテリア事業協同組合)

金田 恒幸(富山県石油業協同組合)

亀遊 勉(富山県電気工事工業組合)
 金田 利行(富山県石油業協同組合)
 栗嶋 豊明(大門企業団地協同組合)
 駒澤 義則(高岡銅器協同組合)
 佐伯 清(富山県自転車軽自動車商業協同組合)
 佐野 賢治(伝統工芸高岡銅器振興協同組合)
 島 竜彦(富山県石油業協同組合)
 島 豊(富山県石油業協同組合)
 嶋田 庄三(富山県建具協同組合)
 清水 仁司(富山県パン・学校給食米飯協同組合)
 千田 勲(協同組合富山トラック輸送センター)
 蒼生 陽一(富山県塗装協同組合)
 高田 重弘(富山県生コンクリート工業組合)
 高本 孝政(富山県麹協同組合)
 武隈 清志(魚津企業団地協同組合)
 丹保 正敏(協同組合富山トラック輸送センター)
 角 和治(富山県骨材販売協同組合)
 土井 修(富山陸運事業協同組合)
 中田 信之(協同組合富山問屋センター)

八田 正道(協同組合高岡問屋センター)
 林 慶隆(富山県電機商業組合)
 福井 智一(富山県パン・学校給食米飯協同組合)
 藤井 和夫(富山県石油業協同組合)
 藤井 正明(朝日町建築事業協同組合)
 古池 進(富山県農業機械商業協同組合)
 松本 清孝(富山県印刷工業組合)
 馬渡 一雄(富山県土石業協同組合連合会)
 水巻 利則(高岡銅合金協同組合)
 溝口 友一(富山県農業機械商業協同組合)
 矢野 隆三(高岡地区陸運事業協同組合)
 山田 秀夫(富山県印刷工業組合)
 渡辺 栄一(富山県石油業協同組合)

【優良専従役員】

佐伯 重行(水谷生コンクリート事業協同組合)
 崎田 宗孝(井波彫刻協同組合)
 中田千代美(高岡鋳物砂処理協同組合)
 水上 貴博(富山県電気工事工業組合)
 林 広森(富山国際事業協同組合)

商工中金より感謝状を受領しました

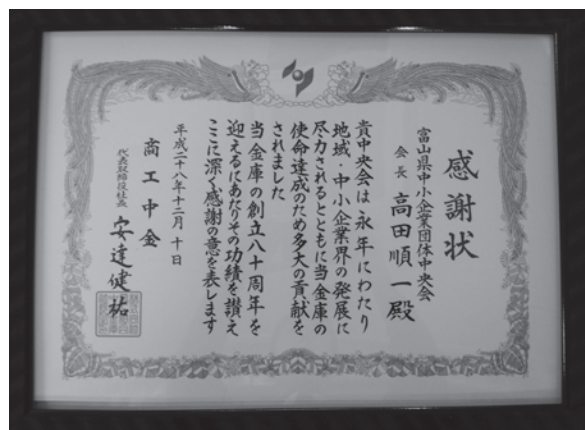
12月13日(火)、株式会社商工組合中央金庫(商工中金)の垂石亨富山支店長が来会し、本会の高田会長に感謝状を贈呈しました。

商工中金と中央会は、地域の組合とその構成員企業に対し、資金面、事業面の支援を行う「車の両輪」として従来から緊密な協力関係にあり、定期的な職員間の情報交換会の開催や中央会推薦貸付制度による金融支援など様々な連携を図っています。

こうした経緯を踏まえ、商工中金が11月30日に創立80周年を迎えたことを契機に本会宛に感謝状が贈呈されました。



垂石支店長(右)から感謝状を受け取った高田会長

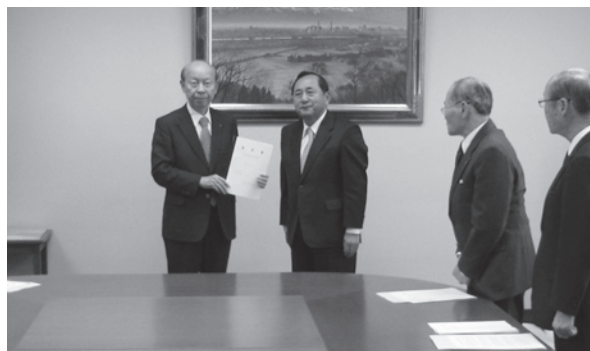


商工中金から贈られた感謝状

中小企業対策の拡充・強化などを県知事に要望しました

1月19日(木)、本会の高田順一会長は、朝日重剛副会長、杉本繁機副会長、齊藤靖弘常任理事、増川茂則専務理事及び江下修理事・事務局長とともに富山県庁を訪問し、昨年11月に開催した「創立60周年記念大会第57回中小企業団体富山県大会」において採択した決議に基づく要望書を石井隆一富山県知事に手渡しました。

高田会長から中小企業対策の拡充・強化、海外販路開拓支援の強化、地場産業・伝統的工艺品産業の振興対策など重点要望事項について説明を行い、石井知事のほか同席した大坪商工労働部長をはじめとした県幹部と懇談しました。



高田会長より要望書を受け取った石井知事



石井知事のほか大坪商工労働部長ら県幹部との懇談

全国中小企業団体中央会創立60周年記念式典・記念祝賀会が開催されました

11月29日(火)、ANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区)において、全国中小企業団体中央会創立60周年記念式典が開催され、元宝塚歌劇団トップスターの安奈淳さんによる記念講演のほか、中央会の発展に多大な功績があった関係者への表彰が行われました。

また、記念式典終了後に開催された記念祝賀会には、安倍晋三内閣総理大臣が来賓として出席し、中小企業支援への決意と中央会に対する激励の祝辞を述べました。



祝賀会で祝辞を述べる安倍総理大臣

表彰された本会役員は下記のとおりです。

- ◎経済産業大臣表彰
朝日 重剛 (本会副会長)
- ◎中小企業庁長官表彰
高田 順一 (本会会長)
上田 峻 (本会常任理事)
藤川 幸造 (本会理事)



表彰した藤川理事、朝日副会長、上田常任理事

県内5経済団体による新春互礼会を開催しました

1月4日(水)、ANAクラウンプラザホテル富山(富山市)において、平成29年経済団体新春互礼会を開催しました。経済団体新春互礼会は、富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、一般社団法人富山県経営者協会、富山経済同友会及び本会の県内経済5団体の共催で例年開催しているもので、今回は石井富山県知事をはじめとした来賓を含め総勢約460名、本会からは高田会長をはじめ役員ら22名が参加して行われました。

互礼会では、富山県商工会連合会の石澤義文会長が開会の言葉、富山県経営者協会の金岡克己会長が新年のあいさつ、石井隆一知事が祝辞を述べたほか、本会の高田順一会長の音頭で鏡開きを行い、富山経済同友会の米原蕃代表幹事の発声で乾杯しました。また、富山県商工会議所連合会の高木繁雄会長が中締めをしました。



高田会長の発声による鏡開き



新春互礼会は約460名が参加した

外国人技能実習制度適正化事業講習会を開催しました



第1回講習会の様子



第2回講習会の様子

本会では、外国人技能実習生の受入事業を行う組合(監理団体)に対する外国人技能実習制度適正化事業を実施しており、その一環として監理団体向けの講習会を2回にわたって開催しました。

第1回講習会は、1月11日(水)に、とやま自遊館(富山市)において開催し、富山県警察本部の嶋田三郎隊長補佐より技能実習生失踪防止対策について、また、富山県職業能力開発協会の前原正一郎事務局次長より技能検定随時3級・2級の概要と実施上の課題についてそれぞれ説明を受けました。そのほか、本会からは本事業の実施状況並びに昨年12月に公表された外国人技能実習適正化法に係る省令案の概要について説明しました。

続く第2回講習会は、1月23日(月)に、とやま自遊館において開催し、本事業の専門家として組合巡回に同行いただいた大花哲仁社会保険労務士より技能実習制度の課題について、また、厚生労働省職業能力開発局の高橋秀誠海外協力課長より新たに施行される外国人技能実習適正化法の詳細について説明を受けました。

採用力アップ研修オープン講座を開催しました

本会では、県からの委託を受け、人手不足に直面している県内中小企業の採用力強化を図り、人材確保に繋げるため、企業の人事担当者を対象とした採用力アップ研修を今年度新たに実施しています。こうした中、昨年12月13日(火)、当事業のオープン講座をサンフォルテ(富山市)において開催し、県内の人事・採用担当者ら約100名が出席しました。

講座では、当事業の監修を務める辻素樹氏が「内定辞退を考える」と題して、学生の就職活動の状況や内定辞退対策などについて説明しました。続いて、株式会社リクルートキャリア就職みらい研究所の岡崎仁美所長が、「新卒者の定着と育成を考える」をテーマに講演を行い、2017年3月卒採用の振り返りと今後の展望のほか、「さとり世代」といわれる若者の育成方法などについて説明しました。



辻氏による講演



岡崎所長による講演

県内中小企業人事・採用担当者による東京都内の大学訪問を実施しました

本会では、1月17日(火)から2日間の日程で、採用力アップ研修に参加している人事・採用担当者ら10名で東京都内の大学を訪問しました。今回の訪問では、青山学院大学、駒澤大学、国士館大学、専修大学、日本大学、東洋大学、明治大学の各キャリアセンターを訪問し、自社のPRを行ったほか、学生の就職活動の状況などについて意見交換を行いました。今回の訪問は、NHK富山放送局の同行取材を受けるなど、注目を集める取り組みとなりました。

このほか、1月20日(金)には福井県及び石川県、24日(火)～25日(水)には愛知県、2月3日(金)及び7日(火)には富山県内のそれぞれの大学への訪問も実施しました。



キャリアセンター担当者との意見交換



参加した県内企業の人事・採用担当者ら

産学官連携セミナー（ものづくり補助金活用事例発表会）を開催しました

本会では、12月13日（火）に富山流通会館（富山市）、14日（水）に高岡エクール（高岡市）において、「産学官連携セミナー」（ものづくり補助金活用事例発表会）を開催しました。

このセミナーは、中小企業と大学・公設試験場との交流促進を目的に、産学官連携に取り組む中小企業の事例を紹介するために開催したもので、ものづくり補助金を活用した企業とそれを支援した大学・公設試験場による事例発表を行いました。

富山会場では、株式会社アースクリエーションの石橋隆二代表とその支援を行った富山県立大学地域連携センターの藤堂洋三産学官連携コーディネーターが、また、株式会社オーギャの水島昌徳代表とその支援を行った富山県工業技術センター中央研究所の小幡勤副主幹が、それぞれ事例を発表しました。

高岡会場では、株式会社MINAMIの伊東順一常務取締役と富山県立大学地域連携センターの佐藤春夫産学官連携コーディネーターが、また、有限会社西川鉄筋の西川正勝代表取締役とその支援を行った富山県工業技術センター生活工学研究所の金丸亮二課長がそれぞれ事例を発表しました。



富山会場の様子

富山労働局からのお知らせ

準備してありますか？有期雇用者「無期転換ルール」

「無期転換ルール」とは有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときは、労働者の申込により、期間の定めのない労働契約（無期労働契約）に転換できるルールです（平成25年4月1日以降に開始する有期労働契約が対象です）。

無期転換ルールへの本格的な対応が求められるのは平成30年4月からです。労使話し合いのうえ、就業規則の見直し等をお進めください。

詳しくは、

無期転換ルール 富山労働局

検索



問い合わせ先

富山労働局 雇用環境・均等室 TEL: 076-432-2740 〒930-8509 富山市神通本町1-5-5 富山労働総合庁舎5階

平成28年分 所得税及び復興特別所得税・消費税及び地方消費税・贈与税の確定申告

●確定申告書の作成は、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で！

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用いただければ、画面の案内に従って金額などを入力することにより、税額などが自動的に計算され、計算誤りのない申告書を作成することができます。

平成28年分の確定申告書の作成に当たっては、「確定申告書等作成コーナー」をご利用いただき、作成した申告書等（データ）は、ご自宅等のプリンタで印刷して郵送等により所轄税務署に提出してください。また、「e-Tax（電子申告）」を利用して提出することもできます。

詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）をご覧ください。

※ e-Taxのご利用に当たっては、事前に開始届出書の提出、マイナンバーカード、ICカードリーダーライタの購入などの事前準備が必要です。詳しくは、e-Tax ホームページ（<http://www.e-tax.nta.go.jp>）をご覧ください。



タブレットでも作成できます！

【マイナンバーの記載にご注意ください！】

平成28年分の確定申告書には、マイナンバーの記載と本人確認書類（マイナンバーカード又は通知カード+運転免許証など）の提示又は写しの添付が必要です。

国税に関するマイナンバーの詳しい情報は、国税庁ホームページのトップにある「社会保障・税番号制度＜マイナンバー＞」をクリックして、ご確認ください。

※ ご自宅等からe-Taxで送信すれば、本人確認書類の提示又は写しの提出は不要です。

【申告書提出期限と納期限・振替日】 納付は、安全確実な振替納税が大変便利です。

	申告書の提出期限	納期限（納付書で納付する場合）	振替日（振替納税の場合）
所得税及び復興特別所得税	3月15日（水）	3月15日（水）	4月20日（木）
消費税及び地方消費税	3月31日（金）	3月31日（金）	4月25日（火）
贈与税	3月15日（水）	3月15日（水）	

※ 確定申告をする必要のある方が期限内に申告・納税をしなかった場合、後で不足の税金を納めていただくだけでなく、加算税や延滞税を納めていただく場合がありますのでご注意ください。

【確定申告会場】（受付時間9：00～16：00）

申告会場		開設期間等
富山税務署管内	富山駅前 CiC（シック）5階 いきいき KAN 多目的ホール （富山市新富町1-2-3）	2月16日（木）～3月15日（水） この期間中は富山税務署庁舎での申告相談を行っておりませんのでご注意ください。 土曜、日曜及び祝日は申告相談を行っておりません。ただし、2月19日（日）及び2月26日（日）に限り開設します。 ※会場には、無料駐車場がありません。
高岡税務署管内	高岡税務署 1階 （高岡市博労本町5-30）	2月16日（木）～3月15日（水） 土曜、日曜及び祝日は執務を行っておりません。 ※駐車場は大変混雑します。会場へお越しの際は、公共交通機関のご利用をお願いします。
魚津税務署管内	魚津合同庁舎 4階 （魚津市新金屋1-12-31）	
砺波税務署管内	砺波税務署 2階 （砺波市本町13-19）	

医薬品容器・医療用具の総合メーカー

医薬品（液剤）製造



阪神グループ

阪神容器株式会社 阪神化成工業株式会社 ファーマパック株式会社

代表取締役会長 高田 眞 代表取締役社長 高田 順一

URL <http://www.hansin.co.jp/>

本社	〒536-0017	大阪市城東区新喜多東1-4-12	TEL (06) 6967-1771 (代)
富山本社工場	〒939-8183	富山市小中163番地	TEL (076) 429-1865 (代)
大沢野工場	〒939-2243	富山市中大久保企業団地	TEL (076) 468-9119 (代)
支店/工場	東京・滋賀・山形・岡山・茨城・大沢野・御殿場		

『和・創造・対話』

アルミを通して優れた品質を追求し、信頼される企業を目指してまいります。

株式会社 広瀬アルミ

三協立山株式会社協力工場
住宅用アルミサッシ製品・アルミ形材部品加工



本社工場

本社・高岡工場 高岡市醍醐790番地
TEL:(0766)63-5360 FAX:(0766)63-8040

福光工場 南砺市久戸50番地
TEL:(0763)52-2860 FAX:(0763)52-8038

福岡工場 高岡市福岡町矢部1番地
(三協立山株式会社 福岡工場内)
TEL:(0766)64-3130 FAX:(0766)64-5737

福光工場 南砺市小林100番地
(三協立山株式会社 福光工場内)

経営者の退職金 小規模企業共済制度



既に全国で125万人が加入!

- 1 掛け金は全額所得控除
- 2 受取時に税制面でのメリット
- 3 引退後の安心した生活設計が可能

所得から差し引か	雑損控除	⑩							
	医療費控除	⑪							
	社会保険料控除	⑫							
	小規模企業共済掛金控除	⑬							
	生命保険料控除	⑭							
	地震保険料控除	⑮							
	寄附金控除	区分	⑯						
	寡婦、寡夫控除	⑰							0000

どんな方が加入できるの?

制度にご加入できる方は、個人事業主・共同経営者・会社等役員で、雇用されている従業員(正規雇用人)数によって判断されます。

小売り・卸売・サービス業など

農林漁業・製造業・建設業・運送業・旅館業・娯楽業等



従業員
5人以下の企業



従業員
20人以下の企業

どこで加入できるの?

加入のお申込みは下記までお願いいたします。

- 商工会
- 商工会議所
- 青色申告会
- 中小企業団体中央会
- 中小企業の組合
- 金融機関の本支店など

共済相談室

TEL.050-5541-7171

小規模共済

検索

北陸3県の中小企業と地域の皆さまを応援する...

他にもいろいろ詳しくは...

中小 北陸

検索

中小機構 北陸

〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル10階
TEL.076-223-5761(代) FAX.076-223-5762

中小企業のお助け情報満載

J-Net21

中小企業ビジネス応援サイト
http://j-net21.smrj.go.jp

祭

四季を彩り
とやまの祭り

豪華絢爛、優雅に、勇壮に… 春の喜びと活気を感じる

春爛漫。豪華絢爛な曳山をはじめ、古式ゆかしい稚児舞、迫力ある流鍋馬など、地域で大切に伝承されてきた特色あふれる祭りが目白押しです。



ユネスコ無形文化遺産に登録された高岡御車山祭

伝統と風格誇る曳山

- ・出町子供歌舞伎曳山祭 4月29日(土) 30日(日)
- ・高岡御車山祭 5月1日(月) 国重要有形・無形民俗文化財
- ・城端曳山祭 5月4日(木) 宵祭・5日(金) 国重要無形民俗文化財

伝統を守る市民の心意気を感じられる「高岡御車山祭」。前田家が豊臣秀吉から拝領したという御所車に、ものづくりの町・高岡ならではの華やかな装飾が施された御車山は風格にあふれ、高岡市周辺の曳山の原型とされてきました。正午に片原町交差点で豪華絢爛な7基の山車が勢ぞろいする光景は圧巻。巡行する山車と共に、風情ある町並みを散策するのもおすすめです。前日は宵祭とライトアップも。高岡御車山会館では祭前日は21時まで時間延長、当日は無料開放されます。

高岡御車山祭と共に平成28年ユネスコ無形文化遺産に登録されたのが、300年の伝統を誇る「城端曳山祭」です。精緻な彫りや塗りで装飾され、御神像を乗せた6



ユネスコ無形文化遺産に登録された城端曳山祭



出町子供歌舞伎曳山祭

包まれます。夕方からの提灯山、神様を迎える6か所の山宿が見られる前日の宵祭も必見です。

「出町子供歌舞伎曳山祭」は全国でも6か所しか残っていない曳山子供歌舞伎の一つで、200年以上の歴史があ

ります。「三町揃い曳き」で3基の曳山がそろう、曳山上の舞台で子供歌舞伎が上演されます。千秋楽で最高潮を迎え、子供たちの台詞や見得が決まるたびに観客から大きな拍手と声援が飛びます。今年の演目は記録が残る中では初となる「壺坂壺験記」。5月3日にはチューリップフェア特別公演も行われます。

古式ゆかしい稚児舞

- ・明日の稚児舞 4月16日(日) 国重要無形民俗文化財

黒部の法福寺で毎年4月第3日曜日に奉納される「明日の稚児舞」は江戸初期に始まったとされ、射水の加茂神社、富山の熊野神社の稚児舞とともに国の重要無形



明日の稚児舞

民俗文化財に指定されています。観音堂から当番役の肩車に乗って舞台に渡る稚児4人の舞は、古式ゆかしく、樹齢400年といわれる「明日の大桜」の風情ある景色が彩りを添えます。

子孫繁栄願う獅子舞

- ・赤井の親子獅子舞 4月1日(土)

富山県内の獅子舞は全国的にも伝承数が多く、種類もさまざまです。射水の神楽岡神社で毎年4月第1土曜日に奉納される「赤井の親子獅子舞」は、在来の射水獅子に婦負郡(金蔵)獅子が融合した特殊なもの。安産や子孫繁栄の願いが込められ、母獅子から子獅子が生まれる場面が見どころです。子獅子の生命力を表現した躍動感あふれる曲芸にも注目です。



赤井の親子獅子舞

1度は見てみたい奇祭、大祭

- ・酒とり祭り 4月11日(火)
- ・やんさんま 5月4日(木)

小矢部の下後巫(しもごぜ)神明宮で行われる「酒とり祭り」は300年以上続く全国的にも珍しい奇祭です。ふんどし姿の若者たちが先を争って御神酒を受け、参拝客らに振る舞い、無病息災、五穀豊穡を祈願します。男衆は酒を振る舞う回数が多いほど、参拝客は酒をたくさんかけられるほど1年を幸せに過ごせるといわれ、境内は大いに盛り上がります。

射水の加茂神社の春の大祭「やんさんま」では、県内で唯一の流鍋馬が有名です。京都・賀茂御祖神社(下鴨神社)の流れをくむ神事で、参道を疾走する馬上からの目掛けて矢

を放つその迫力は息をのむほど。田の神が乗った牛をひざまずかせることで、農耕神をこの地にとどめて五穀豊穡を願う、日本でここだけの「牛乗式」も行われます。



酒とり祭り



やんさんま

富山県中小企業団体中央会 「企業立地マッチング促進事業」

富山市内で空き工場・用地をお探しの方へ!

ホームページはこちらです。

<http://aki-toyama.jp/>

富山県中小企業団体中央会では、富山市内初の工場物件等のマッチングサイトを開設しております。本サイトは富山市内の**空き工場・作業場・倉庫・工業用地・事務所**などの遊休事業用不動産の有効活用と地域産業の活性化を図るために、工場等の立地促進（移転・増設・県外企業誘致など）に取り組む事業の一環として運営しております。

現在所有の遊休事業用不動産の**売却・賃貸**、または**取得・賃借**をご検討しておられる方は、当ホームページをご活用いただきますようお願いいたします。

富山市内の各情報については、ホームページ上のみならず、富山県中小企業団体中央会にてストックされているものもございますのでお気軽にお問い合わせ下さい。



地図上にて簡単に物件を探ることが出来る様になりました。

ご希望の物件をメールにてお知らせいたします。

携帯からのアクセスもラクラク!

新着情報に加え、おすすめ情報を追加。

業務提携：(公社)富山県宅地建物取引業協会・(公社)全日本不動産協会富山県本部
業務委託：富山市

アクセス方法は次の3つ!!

検索画面

空き工場 富山

検索

HPアドレス

URL <http://aki-toyama.jp/>



QRコード

■ホームページや本事業に関するお問い合わせ

〒930-0083 富山市総曲輪2-1-3 (富山商工会議所ビル6F)
富山県中小企業団体中央会 工業支援課 企業立地マッチング促進事業係
TEL (076) 424-3686 FAX (076) 422-0835